

こんにちは。Cブロックの村木です。

今回はCブロックで行ったユニット全体の再構造化について紹介します。

Cブロックの利用者さんは「いつもと同じ」だと安心して生活できる方が多いです。

専門的には「同一性保持」と言ったりします。物を置く位置がずれているのが嫌だったり、自分が使っていない電気は消しておきたかったり、いつもと違う日課で過ごすのが不安だったり…。ですので、Cブロックでは、できるだけ「いつもと同じ」が提供できるよう配慮して支援しています。

ですが、「いつもと同じ」をずっと続けていると、しだいにマンネリ化してきます。すると「いつもと同じが安心」と思っていたのが、少しずつ「いつもと同じでなければならない」に変わってしまい、かえってストレスを抱えてしまうことになってしまいます。そうなる前本人もつらいですから、そうなる前に生活環境をリセットし、リフレッシュしていただくことにしています。これがユニット全体の再構造化です

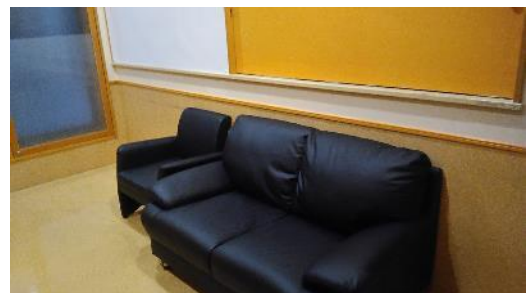
小さい変更ですと「いつもと同じ」に戻したくなりますが、大きく変わると受け入れてくれます。まるで、全く違う場所で新しく生活を始めるように感じてくれるのかもしれませんが。

今回は、その再構造化での変更の一部を紹介します。

○歯磨きのコップやケースの色を変えたり、



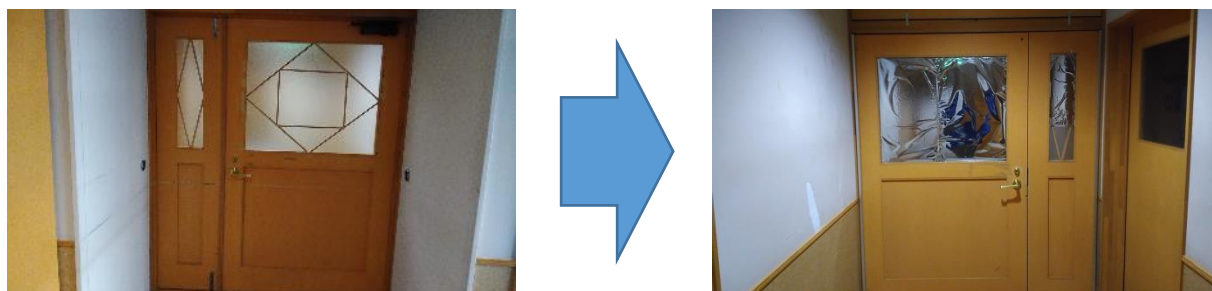
○デイルームのソファは、オシャレなレザーに交換したり、



○自立課題を一新したり、



○出入り口にスモークを貼ったり、



○新しい支援もこのタイミングで始めたりします。



写真では紹介しきれませんでした、このほかにもユニット内で色々な利用者さんに色々な変化を用意しました。これで心機一転。Cブロックの新たなスタートです。